

## 江東区こども発達扇橋センター 平成30年度 事業所自己評価

職員による自己評価（◎○機関の強み）	保護者による評価
<p><b>①環境体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 教室のスペースは狭い。室内でボードを活用し分割する等対応している。</li> <li>・トイレのおむつ替えのスペースは床にバスマットを敷き活用している。</li> <li>・近隣の公園や遊歩道の活用を行っている。</li> <li>・在籍児の拡大に対し、利用料の請求関係の事務職員、保健対応の看護師の増員が必要である。</li> </ul> <p><b>②業務改善</b></p> <p>◎在籍児拡大に伴い支援ニーズ調査票を見直し、分かり易くなり個別支援計画作成に活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業を理解していない状況が見られた。月末報告会を設け各部門業務の共通理解を図った。</li> <li>・保護者アンケートの結果を振り返り、すぐに対応できることについては実施してきた。</li> <li>・研修の時期や内容を考え、計画的実施が必要。</li> </ul> <p><b>③適切な支援の提供</b></p> <p>◎通園事業では、作業療法士による運動プログラムへの助言や協力、塩浜職員との連携、幼稚園・保育園、他施設の経験者の意見等から、新しい活動プログラム、活動内容への提案を取り入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1 通園のお子さんに関しては、個別支援計画に基づいての活動を考える事が難しかった。</li> <li>・センターとしての人員基準は満たしているが在籍児の急増に常勤職員の確保は必須である。</li> </ul> <p><b>④保護者との連携</b></p> <p>○面談以外に登園時の5分程で積極的に挨拶や声を掛ける等、保護者と話す時間を意識した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な時間がなく相談が丁寧にできなかった。</li> </ul> <p>◎ペアレントトレーニングを年長児に実施した。</p> <p><b>⑤関係機関との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の小規模保育機関の急増を背景に地域支</li> </ul>	<p><b>①環境体制整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車を置く場所が少ない。対処して欲しい。</li> <li>・弟や妹を連れて行くときに使っていない部屋をキッズルーム、授乳室にして頂けると良い。</li> <li>・廊下の掲示物がわかりにくい。整理が必要。</li> </ul> <p><b>②業務改善・職員対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育ニーズが高まっていると感じる。事業運営自体の拡充を視野に入れて欲しい。困っている家庭の助けになると思う。</li> <li>・小学校入学後も継続的なサービスを受けたいと思う。</li> <li>・職員が多忙、働きやすい環境になって欲しい。</li> <li>・担当の欠席が多く、信頼関係が築けなかった。</li> <li>・専門性の高いスタッフ、知識不足の職員と差がある。</li> <li>・通園バスの時刻やルートを見直して欲しい。</li> </ul> <p><b>③適切な支援の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育事業に関しては、個別支援計画や実践に関して手厚い指導を受けられていると思う。</li> <li>・保護者の面談が少なく、相談ごとを十分に話す時間がとれないと感じる人がいた。</li> <li>・日曜療育参加、運動会等の曜日や内容、時間配分、保護者参加の仕方等を検討して欲しい</li> <li>・分離クラスの療育の様子を自由に見学したい。</li> </ul> <p><b>④保護者との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の面談で子どもの様子、悩みなどを共有しづらい。</li> <li>・保育所等訪問事業はありがたかった。もう少し回数が増やしてもらえると良い。</li> <li>・CoCo でやった課題で、家庭で行えることを教えて欲しい。</li> <li>・保護者同士の交流を深める場、懇談会が増えると良い。</li> </ul> <p><b>⑤関係機関との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他機関訪問では、職員から見た幼稚園・保育園の様子を聞くことができ参考になった。</li> </ul>

<p>援事業として、認可外保育園を対象に職員研修を企画し事例検討を行った。</p> <p><b>⑥危機管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットに関して、職員の終礼で毎週末に報告し、状況や対策の共有を図っている。</li> <li>・虐待防止・権利研修し子どもへの対応に関しての検討や、身体拘束に関して検討する</li> <li>・感染症対応マニュアルなどで職員理解が必要。</li> </ul> <p>○防災訓練（全館、園全体、クラス単位など）で、月1回を目標にしてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理の意識を職員全体で持ち共通理解を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問事業の申し込みから実施に時間がかかる。</li> </ul> <p><b>⑥危機管理・権利擁護・虐待防止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入口の番号で施錠されているが開いている時間が長く誰も見ていない時間ができるため、子供により外へ抜けて行こうとする子がいる。</li> <li>・地下駐輪場の使用状況では、バスや駐車しようとする人の運転の仕方等、こどもと同じ施設内で危ない場面に遭遇することがある。</li> <li>・グループ活動中、他児をなぐる子がおり、手を出してしまいやすい子に注意を向けて欲しい。</li> <li>・行動を細かく見てくれて助かる。</li> </ul>
---	---



- 長期目標（3年）施設改修による快適な施設、新規施設開園による利用保障の向上
- 短期目標（1年）改善可能な具体的目標を設定・実施し、快適さの向上を図る。

### ①環境体制整備

方針1-1：駐輪場に関しては、駐輪場使用状況を調査し使用のしかたを周知した。

- ①ブロック撤去と白ライン引きの工事、②整理整頓を実施、③行事における公用車移動

方針1-2：使用していない部屋の活用の仕方の検討

### ②業務改善

方針2-1：職場内の環境整備を図り、仕事のしやすい環境づくりを行う。

- ① unnecessary書類の廃棄 ②オンライン・ペーパーレスの改善点

方針2-2：職員研修の時期と内容について、意向調査と時期の調整をはかる。

- ①内部研修の立案、②外部研修への希望調査実施

### ③適切な支援の提供

方針3：クラス内での打ち合わせ、振り返り等、クラス業務の効率化をはかる。

- ①振り返り、記録、準備の時間・内容 ②行事等スケジュール見直し

### ④保護者との連携

方針4：発達、療育機関、育児、保健、就学等の可能な相談職員の照会表を作り、面談の充実を図る

### ⑤関係機関との連携

方針5：現状の方針を引継ぐ。必要な改善は随時一検討

### ⑥危機管理

方針6：要保護対応、権利擁護、危機管理の視点で、短期の変革に取り組む

- ①要保護対応の職員研修（発見、通報、見守り支援）
- ②人権を配慮した施設内虐待防止への取組む一緊急時の身体拘束の明記（激しいかんしゃく、物を投げ、他者を傷つけなど）、日常指導場面の援助方法（着席、離席、行動援助、身辺自立など）

③わからない・知らないがない危機管理マニュアルの共通理解を図る。

#### ※今後の実現に向けた取り組みスケジュール

- ・PDCA サイクル：クラス・部門・関係者等で検討→管理に提案・承認→職員全体周知→実施→チェック・中間報告・修正・・・(経過確認)・・・→結果報告
- ・目標時期：①課題抽出、方法検討—4月中、随時
- ②実施時期—4月初め、5月連休明け、その他随時
- ③経過報告—終礼、月末報告会、年度末報告会など